

## 令和4年度 事業報告について

### 1. 事業概況

新型コロナウイルス感染症の位置づけが、令和5年5月8日から、季節性インフルエンザなどと同じ「5類感染症」に移行し、感染対策は個人の判断に委ねられることとなりました。

新型コロナウイルス感染症の発生以前の生活に徐々に戻りつつありますが、物価の上昇が続く中、働く人1人当たりの実質賃金は、前の年に比べて大幅に減少し、物価高が賃金の伸びを上回る状況が続いています。

このような状況は、年金を収入の柱にしている高齢者の生活に大きな影響を及ぼしています。

高齢者にふさわしい就業を通じて社会参加することにより「生きがい」や「配分金」を得て、ひいては地域社会への貢献、活性化を図るシルバー人材センターの役割は、ますます重要なものとなっています。

令和4年度の派遣事業受託収益は、新型コロナウイルス感染症の影響等がありましたが、前年度とほぼ同額の2,374,272円となりました。また、請負業務においても前年度と同様に推移した結果、当期経常増減額は1,802,511円の増益という結果となりました。

### 2. 会員の確保

入会説明会を令和4年7月までは毎月第3木曜日に、8月以降は毎月第1木曜日に開催し、令和5年3月18日には女性限定入会説明会を開催しました。

説明会には延べ114名が参加し、56人が会員となりました。結果、会員数は令和4年度実績で対前年度比-51人の652人となりました。

男性会員比率は75.2%、女性会員比率は24.8%です。会員の高齢化等の要因から、会員数が減少に転じていることから、引き続き、会員の確保を推進します。

### 3. 就業の充実

正副理事長をメンバーに加えた就業開拓戦略会議を毎月開催し、就業開拓の在り方を始め、センター一丸となって取り組みました。

#### 4. 安全就業の推進

安全確保は、シルバー会員として就業するうえで何よりも優先すべき課題です。センターでは安全・適正就業委員会を設置し、年間を通じた安全就業への取り組みを行っています。毎月発行する「安全ニュース」では、事故事例の例示から日頃の健康管理や交通事故防止のための心得などを会員全員に情報提供を行いました。また、刈払機講習会、体力測定会、交通安全講習（自転車乗り方、自動車）を開催しました。

健康は安全就業の第一条件であることから、「フレイルサポーター養成講座」「フレイル予防教室」や「からだの衰え度チェック」などを実施し、会員の健康づくりをサポートしました。

#### 5. センター活動への参加促進

センターの目指す理想である「自主・自立、共働・共助」の基本理念の浸透を図り、就業以外のセンター事業への積極的な参加を促すための「会員のしおり」を配布しました。

また、地域班活動は、センターの組織運営を支える最も基礎的な組織としての自主的な活動が望まれることから、地域班の班長会議を開催しセンターの運営に協力頂く体制を整えました。そして「シルバーポイント制度」を活用し、センター事業への参加を促進しました。

#### 6. 運営基盤の強化

コロナ禍の影響を受けた経済社会の回復期において、センター事業は公益法人としての収支相償の原則のもと、予算執行の精度を高め財政の安定化を図ることがますます重要となっています。

センターでは、運営基盤強化のひとつとして、適正な人員確保、業務分担、そして研修による事務局員のスキルアップ等を図り、事務の効率化や事務執行体制の強化に取り組みました。